



## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業活動にご理解、ご支援を賜わりまして、誠にありがとうございます。

日野自動車はより多くの「お客様のお役に立つこと」を使命として、世界中のお客様との絆づくりを拡大し続けております。2007年6月には米国で2番目の日野トラック組立拠点新設を発表、8月には南米コロンビアでのトラック生産会社設立の合弁契約締結ならびに、小型トラックでメキシコ市場へ新規参入と、『世界のHINO』を目指し事業拡大を着々と推進しております。

また国内においては、販売からサービス、保険まで、お客様のニーズにきめ細かく対応する総合営業体制を推し進めると同時に、お役立ち活動の一段のレベルアップを目指しております。

このようななか、中間期の業績につきましては、海外販売の増加および為替円安等の影響により期首計画を上回ることができました。

今後とも「お客様第一」の姿勢で、日野グループ全社・全員で「日本の日野から世界のHINOへ」邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日野自動車株式会社  
代表取締役社長 兼 執行役員

近藤 詔治

## 2007年度中間期の業績のご報告

### ポイント

- 海外事業で半期として過去最高の売上台数を達成。
- 海外売上台数の増加と合理化の推進および為替円安により営業利益増益。

連 結	単 独
売 上 高 …… 6,610億円	売 上 高 …… 5,005億円
営 業 利 益 …… 247億円	営 業 利 益 …… 186億円
中間純利益 …… 123億円	中間純利益 …… 132億円

### 当期の概況

当中間期の我が国経済は、高水準な企業収益のもと、設備投資の増加と堅調な個人消費により、景気は緩やかな拡大基調で推移しました。

当社の国内トラック・バスの売上台数につきましては、国内市場の低迷により22千台と前中間期に比べ5千台(△19.5%)減少いたしました。一方、海外トラック・バスの売上台数につきましては、東南アジアおよび中南米で売上台数を伸ばしたことにより半期として過去最高となる30千台に達し、前中間期を6千台(25.2%)上回りました。その結果、国内・海外をあわせたトラック・バスの総売上台数は、前中間期並みの52千台となりました。

また、トヨタ自動車株式会社からの受託生産車につきましては、輸出向け「ハイラックスサーフ」の好調により総生産台数は、99千台と前中間期に比べ2千台(2.2%)増加いたしました。

以上の結果、当中間期においては、海外およびトヨタ事業で売上台数を伸ばしたことにより、売上高は6,609億56百万円と前中間期に比べ317億27百万円(5.0%)の増収となりました。また、損益面におきましては、海外売上台数の増加と資材費値下げなどの合理化の推進および為替円安により、営業利益は247億21百万円と前中間期に比べ33億71百万円(15.8%)の増益となりました。また中間純利益は、122億82百万円と前中間期に比べ9億56百万円(8.4%)の増益となりました。